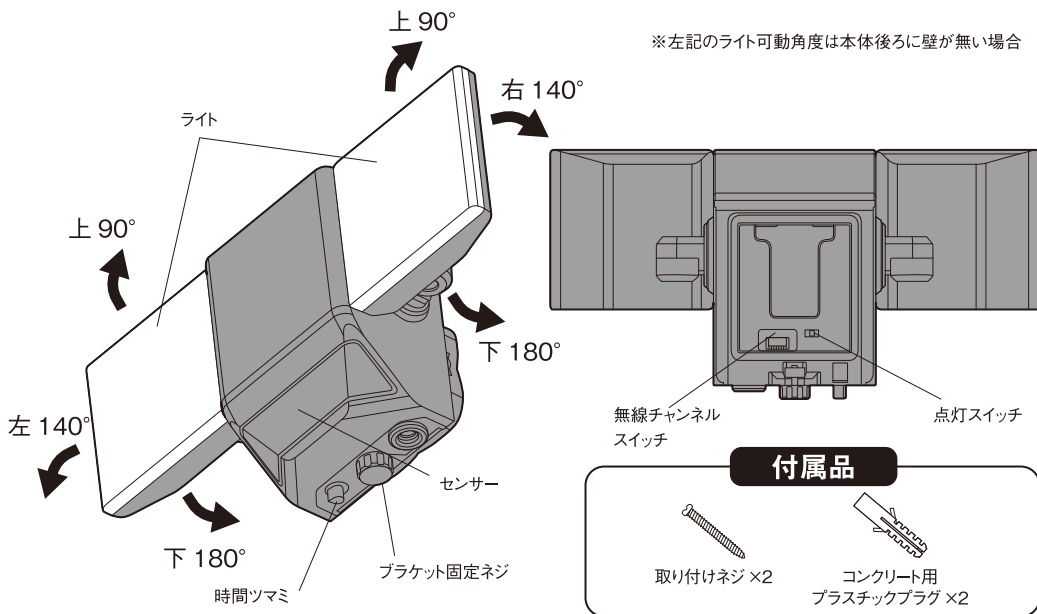


# 7W×2灯 無線連動センサーライト(送受信型) 取扱説明書 **保証書**

この度は、7W×2灯 無線連動センサーライト(送受信型)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。  
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。



## 無線連動センサーライトの特徴

- ①人を感知すると点灯
- ②無線を送信し、はなれた無線シリーズが点灯
- ③他の無線シリーズから受信し、ライトが点灯

# 1. 取り付け前の注意

■図のような場所に設置すると、誤動作や動作しない原因になります。

 <p>風などでゆれる植物やカーテン等の近く</p>	 <p>エアコン等の送風を受ける場所</p>	 <p>大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける場所</p>	 <p>ガラスや壁ごしの場所</p>
 <p>強い振動を受ける場所</p>	 <p>車の通る道路に面した場所</p>	 <p>電波の強い場所</p>	 <p>本体と本体の直線状に遮蔽物があると無線の飛距離が低下</p>

## ■設置場所と取扱の注意

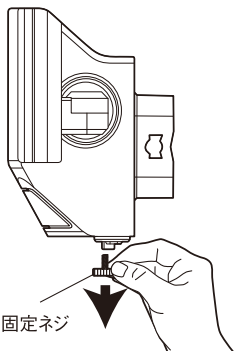
 <p>大量の水</p>	 <p>電波を出す機器</p>	 <p>逆さまに設置しない。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外設置時は防雨型コンセントを使用してください。</li> <li>・電線と直接つなぎたい場合は、必ず電源を切れるスイッチを取り付けてください。</li> </ul>
 <p>ライト部は発熱します。</p>	 <p>分解や改造</p>	 <p>ライト部を直視しない。</p>	 <p>布団や洗濯物など、燃えやすい物の近くに設置しない。</p>
 <p>病院施設内や心臓ペースメーカーを使用されている人の近くでは使用しない。</p>	 <p>航空機内では使用しない。</p>		

強盗・盗難などの被害における責任は負いかねます。

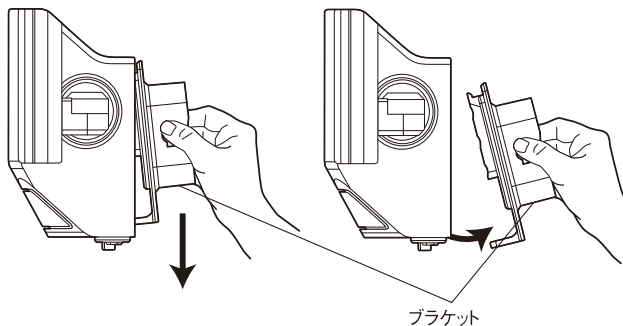
※製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

## 2. ブラケットの外し方

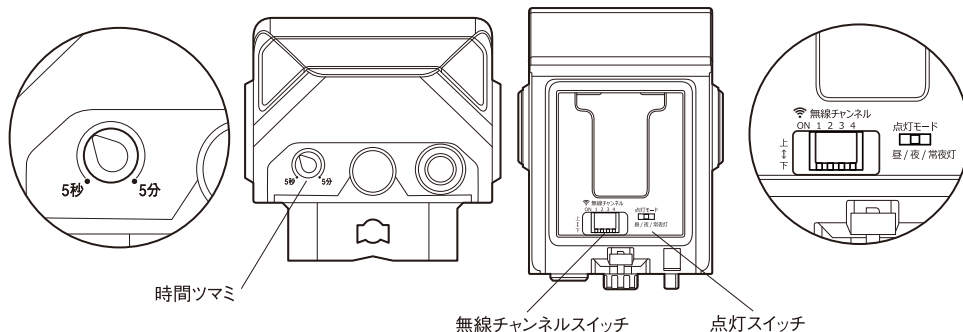
① ブラケット固定ネジを外します。



② ブラケットを下方へスライドさせてからブラケットを完全に外します。



## 3. 調整スイッチとつまみについて



### 時間つまみ

5 秒・・・5 秒間点灯

5 分・・・5 分間点灯

### 点灯スイッチ

昼・・・昼夜を問わず点灯

夜・・・夜だけ点灯（常夜灯無し）

常夜灯・・・夜だけ点灯（常夜灯有り）

・点灯時間の調節は、時間つまみを少しずつ回し、その都度点灯時間を確認し、調節してください。※つまみ角度は時間と比例しません。

### 無線チャンネルスイッチ

次ページで説明します

### 常夜灯について

夜暗くなるとほんのり常時点灯

※点灯確認は夜暗くなってから行ってください。



## 4. 無線チャンネルの設定

### 無線連動シリーズ

品番: W-600、W-610、W-620、W-630、W-640、W-650、W-660 (2022年時点)とペアリング(接続設定)する場合は、以下のように無線チャンネルスイッチの1~4の番号別上下スイッチの上下を合わせてください。

※チャンネル変更してから30秒~1分後、ペアリングします。

※精密ドライバー等の先の細いものでスイッチを上下させてください。

※無線チャンネルスイッチは4個のスイッチそれぞれを上下させて組み合わせを変えることにより、16通りのチャンネル(組み合わせ)が設定できます。

※チャンネルが同じ本体動作でペアリング動作します。下図のように2台以上の本体1~4のスイッチをすべての上下を合わせてください。1か所でも違くとペアリング動作しません。

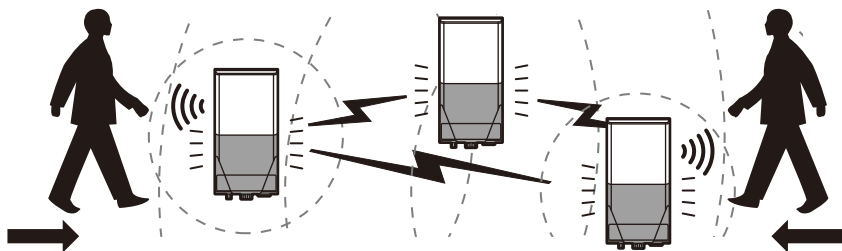
※複数組で使用する場合や、ご近所と混信する場合は違うチャンネルに設定してください。

### チャンネルスイッチを合わせてください



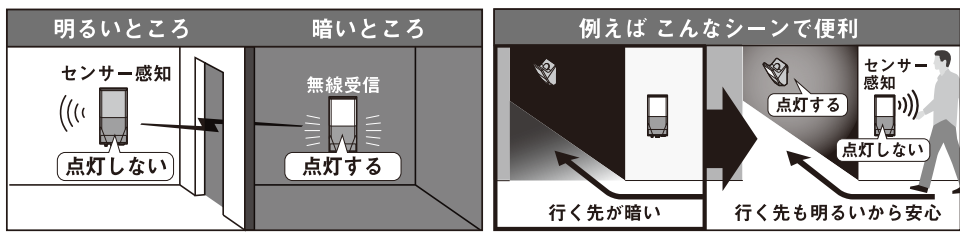
無線チャンネル設定後、時間ツマミ=5秒、点灯スイッチ=昼にして正常に動作するか確認してください。離れているライトが無線で同時に点灯します。

※人が来ると自動で点灯。人がなくなると消灯します。 ※無線感知距離: 探知したライトより見通し20m



### 使用例: すべて点灯スイッチ=夜にした場合

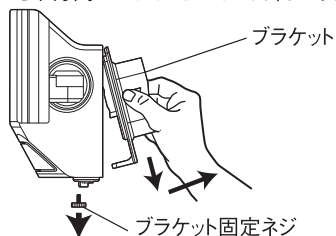
明るいところでもセンサーは感知して電波を飛ばし、暗いところにあるペアリング済みのライトは点灯します。



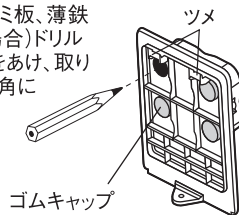
# 5. 本体の取り付け方

## 壁に直接ネジで取り付け

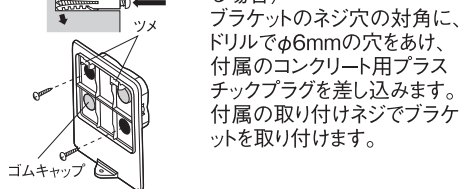
- ① ブラケット固定ネジを外し、  
ブラケットを下方へスライドさせてから外します。



- ② ブラケットのツメを上にし、ゴムキャップを外します。  
(木材の壁などに取り付けの場合) 付属の取り付けネジ2本で、ブラケットのネジ穴に対角に取り付けます。(アルミ板、薄鉄板に取り付ける場合) ドリルでφ3.3mmの穴をあけ、取り付けネジ2本で対角に取り付けます。

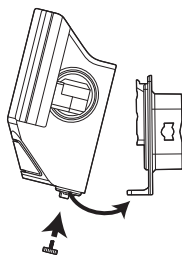


- ③ ブラケットのツメを上にし、ゴムキャップを外します。  
(コンクリートの壁に取り付ける場合)



ブラケットのネジ穴の対角に、ドリルでφ6mmの穴をあけ、付属のコンクリート用プラスチックプラグを差し込みます。付属の取り付けネジでブラケットを取り付けます。

- ④ 本体をブラケットに差し込んで取り付け、ブラケット固定ネジを締め付けます。



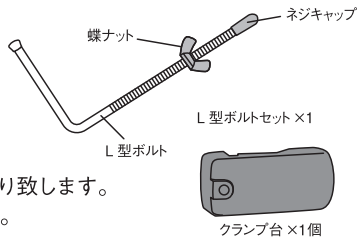
本体をブラケットに差し込んで取り付け、ブラケット固定ネジを締め付けます。

## (別売) SP-5 クランプセットで挟む取り付け方

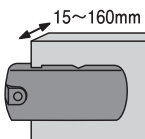
本機には、クランプセットが付属されておりません。  
クランプ台で挟んで取り付ける場合、  
別途クランプセットをご購入ください。

○推奨クランプセット  
[品番 SP-5] RITEX センサーライト用クランプセット

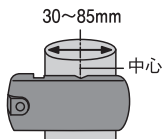
なお、入手困難な場合は直接小社にご注文いただければお送り致します。  
※ただし、代金は前金をお願いします。郵便切手でも結構です。  
代金お支払い手数料は、お客様負担をお願いします。



⚠ 注意 クランプ台での取り付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。



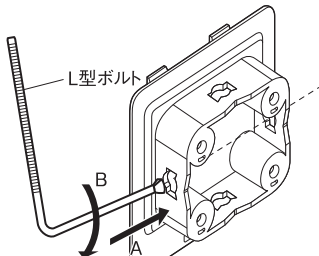
角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。



丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。

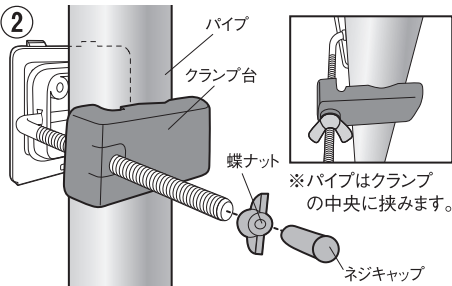
### 上向きの柱、パイプの場合

①



・L型ボルトをAの向きに差し込み、Bの向きに90°回します。

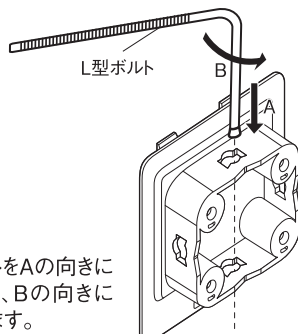
②



・L型ボルトの蝶ナットとネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかりと締めます。ネジキャップを付けてください。

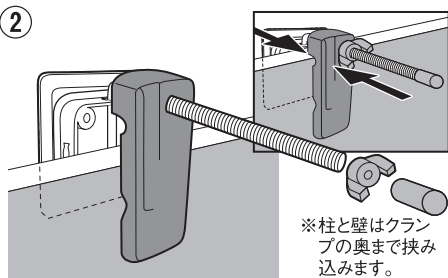
### 横向きの柱の場合

①



・L型ボルトをAの向きに差し込み、Bの向きに90°回します。

②



・L型ボルトの蝶ナットとネジキャップを取り、柱、壁の間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかりと締めます。ネジキャップを付けてください。

## (別売) SP-7 ステンレスバンドでの取り付け方

本機には、ステンレスバンドが付属されておりません。  
ステンレスバンドで取り付ける場合、別途ご購入ください。

○推奨ステンレスバンド  
[品番 SP-7] RITEX センサーライト用ステンレスバンド

なお、入手困難な場合は直接小社にご注文いただければお送り致します。

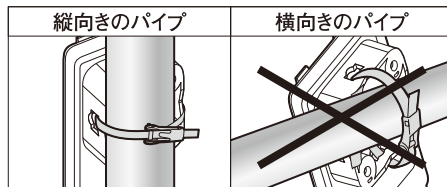
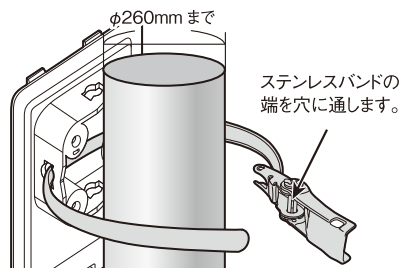
※ただし、代金は前金でお願いします。郵便切手でも結構です。

代金お支払い手数料は、お客様負担でお願いします。

△注意 ・ステンレスバンドでの取り付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。  
・ステンレスバンドを使用する柱には傷がつく場合があります。

① ステンレスバンドを本体後部の穴に通して、柱、パイプに巻きつけます。

② 縦向きのパイプには取り付けできますが、横向きの丸パイプに対しては、本体の重みで回転してしまう可能性があるため、取り付けないでください。



## (別売) SP-9 センサーライト用マグネットでの取り付け方

本機には、マグネットが付属されておりません。  
マグネットで取り付ける場合、別途ご購入ください。

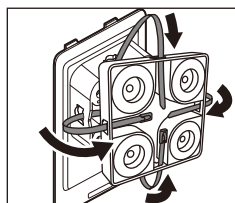
○推奨マグネット  
[品番 SP-9] RITEX センサーライト用マグネット

なお、入手困難な場合は直接小社にご注文いただければお送り致します。

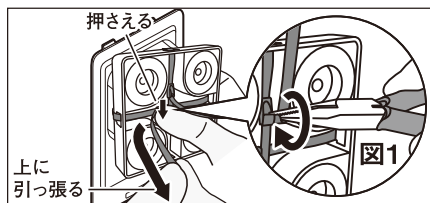
※ただし、代金は前金でお願いします。郵便切手でも結構です。

代金お支払い手数料は、お客様負担でお願いします。

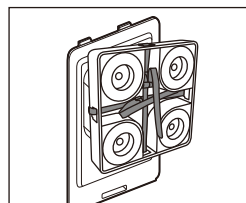
△注意 ・マグネットでの取り付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。  
・マグネットを使用する壁等には傷がつく場合があります。



① センサーライトと本製品の通し穴にステンレスバンドを通します。



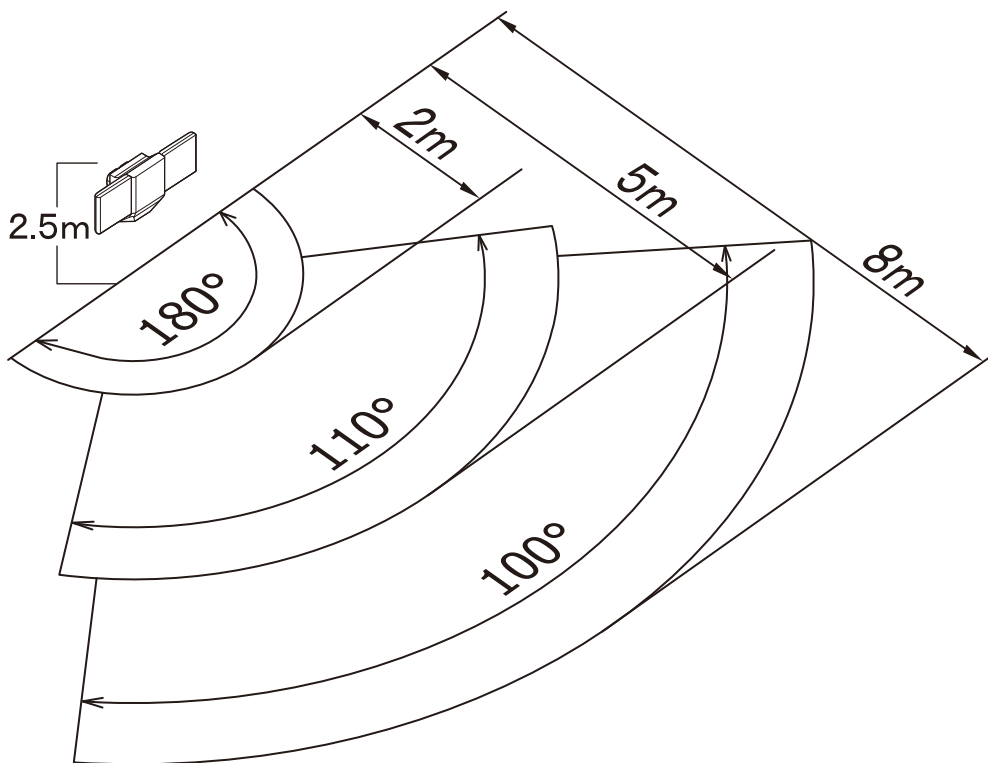
② ステンレスバンドが緩まないようにしっかり引っ張り張ります。緩みが発生する場合は図1のようにペンチで回すように引いてください。



③ 余ったバンドは、溝の中に折り込んでください。

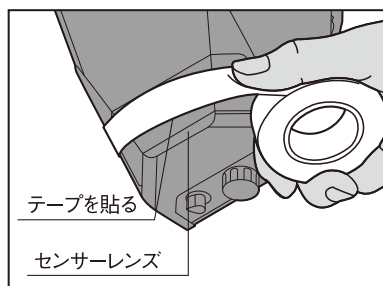
## 7. センサーの探知範囲

- センサーは最遠8m 最大180° の範囲で動く人を探知します。  
センサーを水平、取り付け高さ2.5mの場合。(センサーを下向きにすると探知距離は短くなります。)



### 探知範囲を狭くする

- ・ 探知範囲を狭める場合はセンサーレンズに透明か白色のビニールテープを貼ります。  
(セロハンテープは薄いので二重に貼ってください。)
  - ・ 上面に貼ると探知距離が短くなります。
  - ・ 側面に貼ると探知角度が狭くなります。
- ※センサーレンズ内に明かりセンサーも内蔵されているので、色の濃いビニールテープを貼ると夕刻や昼間でも点灯を開始する場合があります。

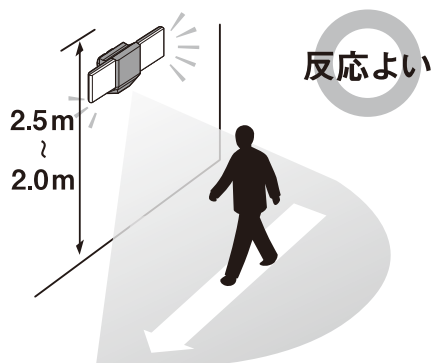




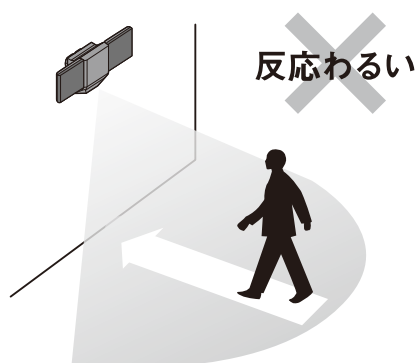
## 8. センサーの探知の注意

### ① 仮設置して動作を確認

横の移動

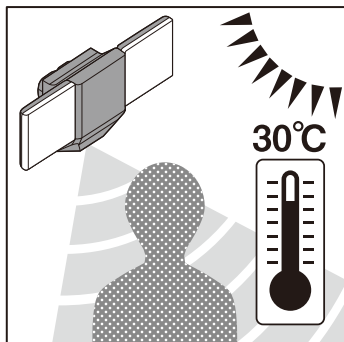


センサーに向かう移動

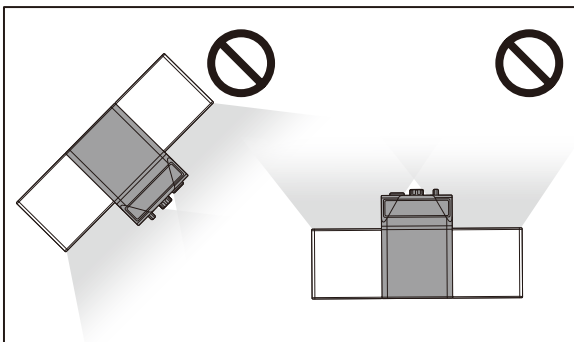


・設置高 3m以下に

### ② 夏は感度が鈍い



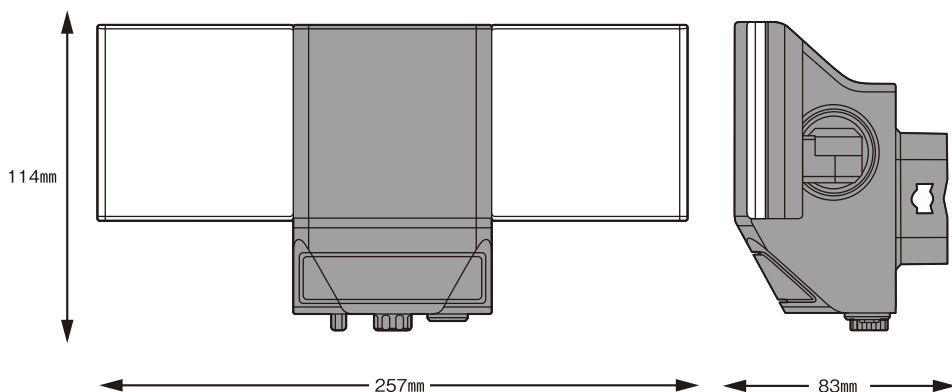
### ③ ななめ、逆さま設置は誤作動や故障の原因



## 9. 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない 探知範囲に人がいるのに点灯しない。	電源が入っていない。	電源プラグが抜けていないか確認する。(家庭用コンセントに差す。)
	点灯スイッチが「夜」または「常夜灯」で、昼または明るい場所に設置している。	夜になるのを待つか、周囲が暗い場所に設置してください。
	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調節してください。(センサーを探知させたい方向に向ける。)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。本機に対し横に移動してください。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとってください。
蒸気や雨などの水滴が付いている。 寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。 手袋をしている。外気温が30℃以上ある。	本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため、左記のような状況では探知しにくい場合があります。	
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない。	探知部に他の照明器具の光が入っている。	他の照明器具の光が入らない場所に設置。 <b>“7. センサーの探知範囲”</b> を参照し、レンズ上部に黒のビニールテープを貼り付けてください。
消灯しない	時間ツマミが「5分」になっている。	時間ツマミを「5秒」にする。 <b>“3.調整スイッチとツマミについて”</b> 参照してください。
	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動してください。
	点灯スイッチが「常夜灯」になっている。	点灯スイッチを「夜」にする。 <b>“3.調整スイッチとツマミについて”</b> 参照してください。
	回路が異常(エラー)状態にある。	電源プラグを抜き2分後再び差す。(リセットして回路を正常状態に戻す。)
昼なのに点灯する	点灯スイッチが「昼」になっている。	点灯スイッチを「夜」もしくは「常夜灯」にする。 <b>“3.調整スイッチとツマミについて”</b> 参照してください。
探知範囲に人がいないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある。 (例)・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている ・風などで良く揺れるもの(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等)	誤動作源を取り除いてください。 (左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する。)
	探知範囲の外側近くに道路があり、自動車や人の動きを感知している。	探知範囲を規制。 <b>“7.センサーの探知範囲”</b> 参照してください。
探知範囲に人がいるのに消灯する	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人には性能上探知できません。
探知距離が短い	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとってください。
	センサー方向がずれている。	センサーを探知させたい方向に向けてください。
	周囲温度が30℃以上ある。	センサーの特性上短くなります。
無線でライト点灯しない	無線チャンネルを変更した直後。	無線チャンネルを変更してから30秒～1分待ってください。
	無線チャンネルの設定が間違っている。	<b>“4.無線チャンネルの設定”</b> を参照して1～4の番号別上下スイッチの上下を合わせてください。
	本体と本体の直線上に遮蔽物がある。	本体と本体の直線上に遮蔽物がない場所に設置してください。
	本体と本体の直線距離が20m以上ある。	本体と本体の直線距離は20m以内に設置してください。

## 10. サイズ



## 11. 仕様

### 本体

サイズ	高さ114mm×幅257mm×奥行83mm		
重量	約640g		
付属品	取り付けネジ×2／コンクリート用プラスチックプラグ×2		
電球	7W×2(高輝度白色LED設計寿命4万時間) ※1 全光束 1200ルーメン／常夜灯 約60ルーメン		
電源／電圧	AC100V 50Hz／60Hz		
消費電力	点灯時:15W(点灯時)／1.5W(常夜灯)／待機時:0.5W以下		
センサー	探知方式	焦電型赤外線センサー	
	探知範囲	最大180° 最遠8m *取り付け高さ2.5m	
点灯時間設定	5秒～5分		
点灯切替機能	昼 ……周囲が明るくても暗くても点灯、常夜灯なし 夜 ……周囲が暗いときのみ点灯、常夜灯なし 常夜灯……周囲が暗いときのみ点灯、常夜灯あり		
電源コード長さ	約3m		
設置場所	屋内・屋外用(防雨タイプ IP65)		
無線	周波数	2.4GHz	見通し距離 20m
	チャンネル数	16通り	ペアリング(接続設定)可能台数 16台

※1 LED球は交換できません。

LED球の寿命は設計寿命であり、製品寿命を保証するものではありません。

LED素子にはバラツキがあるため、同じ品番のセンサーライトでも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

# 保証書

この製品は優れた技術と部品で製造され、厳密な検査をへて出荷されたことを証明し、下記の規約により小売店から購入した日から1年間、その品質を保証します。

## 持込修理

- 通常使用により欠陥が生じた場合は、無償で新品と交換または修理いたします。  
ただし、以下の理由は免責といたします。
  - 取扱上の不注意、誤った使用方法。
  - 天災・火災等。
  - お買上げ後の輸送・移動・落下等。
  - 保存上の不備。
  - 小社以外による修理または改造。
  - 本製品本来の使用目的以外の使用。
- 使用に伴う部品の消耗には保証の適用はされません。
- 運送料および梱包料等の費用は、お客様でご負担ください。※販売店名、ご購入年月日のないものは無効となります。
- 保証期間が切れた後の修理、保証の適用されない故障につきましては、有償で修理いたします。
- 一切の工事費用は、お客様の負担となります。
- 本証は、再発行いたしません。

購入品名 <b>7W×2灯 無線連動センサーライト(送受信型)</b>		W-610
購入年月日 年 月 日		
住所 (〒 ) 名前		TEL 販売店名
TEL		
故障状況		

# musashi

株式会社ムサシ

〒675-1232

兵庫県加古川市平荘町里 551-1

Eメール: info@634634.jp

https://musashi.inc

お客様  
相談窓口 **0570-033-634**  
平日 AM10:00~PM5:00  
IP電話からは **050-3503-6345**

上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、ご購入年月日、店名等を証明するものを貼ってください。

# 無線シリーズ専用WEBサイト

他の機種と連動することで様々なシーンに活用できます

QRコードから  
ご覧ください



01 W-600



600  
ルーメン  
常夜灯  
つき

7W×1 灯無線連動  
センサーライト(送受信型)

05 W-640



ソーラー式無線連動  
ガーデンセンサーライト  
(送受信型)

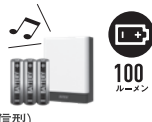
02 W-610



1200  
ルーメン  
常夜灯  
つき

7W×2 灯無線連動  
センサーライト(送受信型)

06 W-650



乾電池式無線連動  
チャイム&ライト(受信型)

03 W-620



300  
ルーメン

3W×1 灯乾電池式  
無線連動センサーライト(送受信型)

07 W-660



乾電池式無線連動  
センサー(送信型)

04 W-630



300  
ルーメン

3W×1 灯ソーラー式  
無線連動センサーライト(送受信型)

08 W-670



乾電池式無線連動チャイム&ライト(受信型)  
+センサー(送信型)セット